平成　　年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	Ⅱ－１－

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

※

○受験番号，問題番号，技術部門，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。
○解答欄の記入は，１マスにつき１文字とすること。（英数字及び図表を除く。）

１．　ＦＰ法とは

　ＦＰ法は、ソフトウェアの機能（ファンクション）を基にして、開発規模を測定する手法である。

２．　ＦＰ計測の手順

①計測種別（新規開発ＦＰ、機能拡張ＦＰ、アプリケーションＦＰ）の決定

②計測範囲とアプリケーション境界の決定

③データ・ファンクション（内部論理ファイル、外部インターフェースファイル）の計測と複雑度を決定

④トランザクション・ファンクション（外部入力、外部出力、外部照会）の計測と複雑度の決定

⑤未調整ＦＰの算出

⑥調整係数の決定と調整済ＦＰの算出

３．　ＦＰ法の効果

①生産性の可視化…インフラ、開発言語などによらない純粋なソフトウェア規模の測定が可能となる。

②品質の可視化…ソフトウェア規模を基準として、仕様変更数、障害件数などを評価することにより、品質を定量的に把握することができる。

４．　ＦＰ法の技術的課題

①ＦＰ法では、ロジックの複雑さが考慮されていないため、複雑な処理が主体となるシステムにＦＰ法を適用すると、過少な規模で算出される。

②性能や信頼性、セキュリティなどの非機能要件をＦＰ数で表現できない。

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字